

新生児集中治療室・NICUと

回復室・GCUの紹介

オレンジ病棟7階 上野 百合子



地域周産期母子医療センターには、NICU6床、GCU12床があります。

主に多摩地区の新生児の治療・看護にあたっています。年間入院数は合わせて年間400～450件あり、その内の10～15%は人工呼吸器管理を要し、5～10%は1500gに満たない新生児が入院します。

中には、在宅酸素療法や在宅経管栄養を必要とする事例もあり、小児科や地域と連携し、退院後もご家族が継続的にサポートを受けられるよう支援しています。

現在は、NICU・GCUを退院し、医療的ケアが必要な家族を受け入れる訪問看護ステーションも多くあり、「この子と自宅で過ごしたい」との家族の要望にも応えやすくなりました。

しかし、退院してからの家族の不安は消えるわけではありません。地域関連施設と連携すること以外にも退院後の電話訪問や新生児外来でのサポートを継続しています。

地域で暮らす赤ちゃんと家族を守り、寄り添うあたたかいNICU・GCUを目指しています。

“地域周産期母子医療センター instagram & Facebook”を是非のぞいてみてください。



instagram



Facebook

### 健診センターからのお知らせ

#### 「土曜日」開設の人間ドックご案内

##### ●平日は忙しくて！という方向け

平日は忙しくて健診を受けられない方（65歳以下）を対象に、土曜日の人間ドックを開設いたしました。



##### —申し込み方法—

電話予約または直接健診センターへの来院予約

月曜日～土曜日 午前9時～午後4時  
(但し年末年始12/29～1/3及び5/1は除く)

電話番号 0422-30-5638 (直通)  
または0422-32-3111 (代)

#### 「平日」開設の認知症ドックご案内

##### ●頭健康を意識する方向け

体の健康だけではなく、頭の健康を意識する方向けに、認知症に重点をおいた認知症ドックを平日に開設いたしました。



健康管理の一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。

お待ち申しあげています。

★詳しくは病院ホームページ→

「人間ドックのご案内」で紹介しています。



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 武蔵野赤十字病院

No.69

2021年 春

〒180-8610  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
TEL 0422-32-3111  
季刊 情報誌

# Eye むさしの

～住み慣れたこの町で、療養の継続をお支えます～

頼れる病院をめざします



#### 基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

#### 基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります



# ～住み慣れた暮らしの場で療養が継続できるよう院内や地域と連携しお支えします～

武蔵野赤十字訪問看護ステーションは、武蔵野赤十字病院併設の事業所として、1993年4月に開設されました。

現在の職員構成は、常勤看護師7名、常勤事務員1名です。



訪問区域は、施設の所在地が武蔵野市の西端に位置するため、隣接する三鷹市・小金井市を含む3Km圏内を中心とし、介護保険・医療保険の両方の訪問看護に対応しています。

武蔵野市	小金井市	三鷹市
境1～5丁目	東町1～5丁目	上連雀1～9丁目
境南町1～5丁目		下連雀3・4・7・9丁目
関前5丁目		井口1～5丁目
桜堤1丁目		深大寺1～3丁目
		野崎2・3丁目
		大沢3丁目

ステーションの特徴は、高度急性期病院の併設施設として、癌の治療継続や医療の処置をご家庭で行う方、退院直後、ターミナル期にある利用者の方が多いことがあげられます。

また、院内の専門性の高い看護師による同行訪問事業にも積極的に取り組み、地域の在宅医療や看護に役立つよう、活動の幅を広げることを進めています。

2020年度のご利用者数は80～90名/月です。訪問看護を行う際に発行される指示書の割合は、院内主治医と地域主治医では7：3と、入院をきっかけに、訪問看護がスタートするケースが目立ちます。

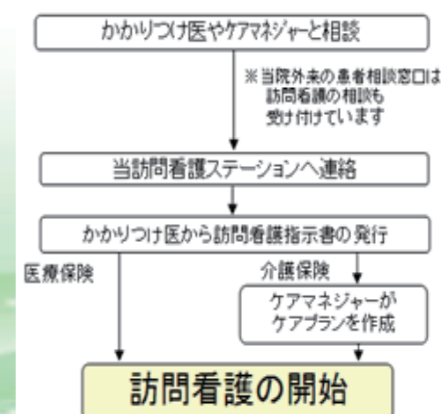
約5年前から、院内看護師の人事交流も活性化し、今年度は、4月から3名、5月から1名が異動、訪問看護ビギナーとして活動をスタートしました。

救急センターや病棟、更に退院調整部門から集まった精鋭たちです。既存のメンバーとともに、多様な看護の経験や技術を持つリソースを最大限に活かして、ご利用者様に安心して療養生活を送っていただけるように、お一人お一人の状態に合わせた看護を提供致してまいります。

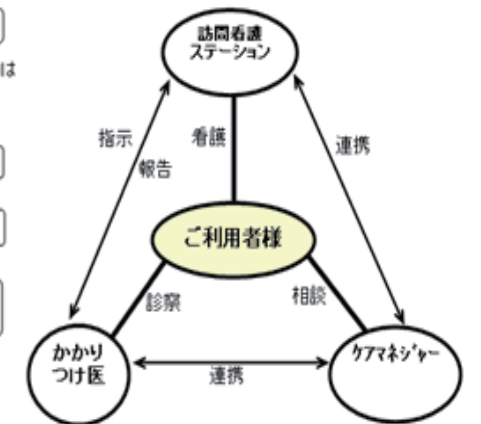
<b>日常生活の看護</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康状態の観察・疾病予防 悪化防止の支援</li> <li>●栄養・食事摂取のケア</li> <li>●排泄のケア</li> <li>●清潔のケア</li> <li>●寝たきり予防とリハビリテーション</li> <li>●コミュニケーションの支援</li> </ul>	<b>ターミナルケア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●疼痛・倦怠感などの緩和</li> <li>●精神的支援</li> <li>●在宅での看とりの支援</li> </ul>	<b>医療処置・管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●チューブ類の管理</li> <li>●内服の管理</li> <li>●床ずれ・創傷の処置</li> <li>●在宅酸素療法の管理</li> <li>●人工肛門・人工膀胱の管理</li> </ul>
<b>認知症の看護</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●病気への看護と療養相談</li> </ul>	<b>心理的な看護</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不安な心理状態のケア</li> </ul>	<b>介護者の相談</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護・介護方法に関する相談</li> <li>●不安やストレスの相談</li> </ul>



### お申し込みの流れ



### 訪問看護のシステム



ご病気の治療で、自宅での酸素療法が必要になった方や、手術後で傷の手当てや、管が入っている方も大勢いらっしゃいます。

**ご利用者の方の「家に帰りたい」という希望をお支えします。**

ご本人のみならず、ご家族のご意向も合わせて伺わせていただくことも出来ます。介護認定をお受けであれば、ケアマネジャーさんにご相談されてからでもいいと思います。

ぜひ一度、訪問看護ステーションにご連絡、お立ち寄りください。  
訪問看護ステーション  
看護係長 豊島 麻美